

第五号

西多摩医師会報



第5号 昭和47年11月7日発行

発行所

西多摩医師会

発行人 高水 武夫

編集責任者 箱崎 淳

青梅市西分3-103

電話 (0428) 3-2171

(0428) 3-2172

こちらむけ我もさびしき秋の暮

寒けれど二人寝る夜ぞ頼もしき

けふ斗人も年よれ初時雨

芭

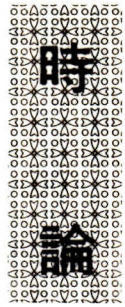
蕉





目次

時論	先進諸国の医療形態を探る(其の一)	自由診療国アメリカに就て	小泉新策	1頁
随筆	珍版「看護婦物語」	咬みつき「チャック」	池田聖	7
	ホールインワン	往診奇談・珍談	宮地誠	12
	“秋祭”		五日市S・K生	13
趣味	漢詩の作法と歴史(その三)	ドライブへのいざない(第五回)	岸田壮一	17
談話室	弁慶の泣きどころ	川崎先生にお答えします	川崎健一郎	20
	各部だより		池田聖	23
編集後記				25
				28



先進諸国の医療形態を探る

(其の二)

自由診療国 アメリカに就て

日・都医代議員 小泉新策

一九七一年七月日本医師会の保険医総辞退を契機として国民の間で「医療は如何にあるべきか」に就て論じられ始めたが外国でも大きな衝撃を受けた如く医療のあり方に就て盛んに検討され始めて来た。今から廿四年前（一九四八年七月五日発足）英国が医療の国营を打ち出し次いで北欧諸国もこれにならって国营医療が発足して今日に至っている。国营とは言ってもその国々で内容は大分違っている。

今回から数回にわたって日本の現況と各国の医療を比較しながら出来るだけ問題点を取り上げて書いて見たいと思っている。書くといっても実際に足で調べたのではない、最近入手出来た書籍によって調査したのであるから勿論不十分な点も多々あると思うのでこの点各位の研究によって補填されんことを希望しておきます。

先づ最初に自由診療国アメリカの見聞よりはじめることとする。

アメリカはGNP世界第一位という豊かさに支えられて医療も他国を圧倒的に引き離す高い水準を誇っている。

だがその反面アメリカの医療費は近年消費物価を大幅に上まわるデンプで上昇して居り、国民の多くはとても堪え難い経済的負担になっており、医療の受けられない人が増加しつつあるのが現況である。

アメリカ人口二億、医師数三三万人、病院約七〇〇〇、医師一人当り国民六三〇人（日本八八五人）、総医療費一九七〇年六七二億ドル（一九七〇年一六〇〇億円）、GNPの七パーセント、国民一人当り三二四ドル（約九万六〇〇〇円）（我国の総医療費七〇年度二兆五〇〇〇〇億円）これも亦世界第一位である。

併しながら高総医療費や量の豊かさは必ずしも高水準医療を意味するものではない。例えば幼児死亡率はアメリカは国際ランク第一位、平均寿命は男一八位、女一位先進諸国間では寧ろ下位である。我国のランクは幼児死亡率五位平均寿命男一三位女十四位、女子寿命を除けば我国の方が上位である。

アメリカでは医療の偏在が問題の第一位である。医師は日本と同様に大都市周辺に集中し南部や中西部では医師不足が深刻で、人口の約二〇パーセント約四〇〇〇万人は無医地区に生活している。

数百万人は頻死の重症にならなければ医療が受けられないという。これが世界最高といわれるアメリカ医療の一面である。アメリカでは、一九七〇年調査によると過去一〇年間に入院費三倍、医師料金

六〇パーセント医療費平均五〇パーセント以上の値上りであり、この間の消費物価の上昇指数は三〇パーセント、一般国民にとって重負担であつて特に入院費は急上昇し現在一日一〇〇ドルが相場、このまゝ上昇すれば三年もすれば二〇〇ドル（約六万円）にはね上るであらう。金持ちか又は老人、貧困家庭で政府の援助を受けているものを除いた中産階級にとっては高水準医療は益々縁遠いものになっている。重症になれば病気が回復する前に破産してしまふ。高い医療費が水準の高いアメリカ医療を一部の金持ちのための医療に墮落させたというのが殆んど国民感情である。最近の高医療費特に入院費の異常上昇は何によるか。インフレによる面もあるが実質値上りの第一原因は人件費である。中等度の規模の診療所での調査では看護婦月給平均七五〇ドル（約二二万円）X線技師一二〇ドル（約三六万円）つい最近まで低賃金と長時間労働を「天職」という美名に耐え忍んで来た医療従業員が労働組合としての組織づくり成功して此の運動が全米に拡がり大幅賃金引上げ、最低賃金制等の適用条件をかちとつてこゝ五年足らずの間に約二倍強に上昇したといわれている。医学技術の日進月歩に対応する設備機械器具の導入による値上り、機械技術の急速の改善による更新等がこれらに拍車をかけているといつてもよい。更に医療費に拘泥せず、最高水準の医療技術で腕を振って見たい医師の欲求、又ベットをフル廻転させて増収に専念する病院経営者の態度、これ等が凡て医療費の上昇に拍車をかけておるのである。

こゝで診療料について取り上げて見ると、アメリカの開業医は家庭医の役割を果たす一般医と専門医に分れるが最近専門医が増えて、一般医と専門医の比率は一对四。診療料も専門医の方が三〇―四〇パーセント高く、場合によっては二倍から三倍のこともある。一人の開業医が一貫して患者の診療をやるのが原則であるが病氣によっては、専門外の場合、又手に余る場合他の開業医に紹介したり契約している病院に入院させて常勤医の診療を受けさせることもある。高い技術を持った腕のいい開業医が責任をもって患者にあたる。病院では斬新な設備で多数のスタッフが手厚い看護をする。

いたれり尽せりで斯く見る限り正に世界一の医療といえる。併しこうした優秀な医療は高医療費によつてのみ得ることが出来る。

アメリカ医療は自由診療が原則であるので医師は自分の経歴、診療内容によつて自由に料金がきめられる。患者は自由に医師の撰択が出来た代りに請求された料金は責任を以て支払はなければならない。

先づ初診料六〇ドル（約一万八〇〇円）一日当り入院料一〇〇ドル（約三万円）、アメリカの国民所得が我が国の三倍と考へても我々に比較して格段と高い。虫垂炎手術に例をとつて見れば初診料六〇ドル各種検査、麻酔料等二〇〇ドル、手術料二五〇ドル入院一週間で七〇〇ドル在診料六〇ドル計一二七〇ドル（約卅八万円）。

平均アメリカのサラリーマンの年間所得の約一〇パーセントに相当する。我が国で組合保険本人で同じ条件で併も可能な一部負担を考慮に入れて換算して見ても、四二〇〇円、家族で一万五〇〇〇円余り

如何にアメリカ医療が高いかうかがえる。又一般の例を拾って見よう。実態を知る参考とするために。一九六九年ニューヨークで十

才の少年が原因不明の高熱で入院、一九時間余りで死亡、この入院費一七一七ドル（約五一万円）一時間当り八六ドル（二万五八〇〇円）（薬代、X線、人工呼吸、検査入院）、同じ頃六〇日間入院した患者が二万二〇〇〇ドル余の請求を受けた。

一日当り約三七〇ドル（一一万一〇〇〇円）、この間に一二〇〇回の検査、輸血、投薬を受けている。

又結核で一三週間入院した労働者が一万三〇〇〇ドル請求された。

医療保険と貯金を合せて払っても四〇〇〇ドル不足、金に困って退院したので働けない、母親が家政婦をして月給三〇〇ドルの中から二〇ドルづゝ返済してる。返済が終るまでには八年かゝることになる。子供の病気で八〇〇〇ドル請求されて困ってるもの、妻の分娩準備にすぎない煙草までやめて貯金をしなければならぬ、正當分娩約一二〇〇ドル（約三六万円）。「こう医療費が高騰しては医師にかかるのは健康を守る権利というより最大の贅澤である」死ぬ前に一度でよいから良い先生に診てもらおうと貯金をしている。これ等の状況から比較して見れば、日本の医療は将に天国である。勿論医師の犠牲の上に経済的欠陥をカバーしている面は見逃すことは出来ないけれども、国民にとっては天国であると強調出来る。

次にボーダーライン以下の国民層は如何なる医療の道が開かれているか調べて見よう。メディケイド制度とメディケア制度がある。

メディケイド制度は、州政府が連邦政府の援助の下に患者に代って医療費を支払う。

メディケア制度は六五才以上の老人を扱う、連邦政府が運営をしている。一九六六年に発足した医療保障である。メディケイドは四人家族年収五〇〇〇ドル以下に対し医療費を肩がわりするもので七〇年現在で一七〇〇万人が適用を受けている（国民の約八・五％）

メディケアは六五才以上の老人を対象とする病院保険で入院九〇日間（初め六〇日は一日四〇ドル後の三〇日は一〇ドル）の給付を行う。但し一生につき一九〇日を限度とする。適用者は六十五才以上の九五％の約二〇〇〇人で国民の約一〇％に相当するメディケイドは医療費の急上昇でニューヨークカリフォルニア等大州でも財政危機に直面し発足数年で早くも暗礁に乗り上げんとしている。持てるアメリカでも此の通り何処も同じである。診療費を自由に支払えるのは一部富裕層のみで低所得層はメディケイドとメディケアによってカバーされているが高医療費は中産階層に強くのしかゝっている。従って中産階級人は、何等かの民間の健康保険に加入しているが何れも今や負担能力も限界に近づいていると云はれて居る。

アメリカでは医療保険は原則として外来診療には適用しない。入院患者に限られている。入院はオープンシステム方式であるので医師と病院への支払いが別々で、医師保険と病院保険の二本立てである。病院保険を代表するものはブルークロス、医師保険を代表するものにブルーシールドがあり、この保険は政府や企業には関係なく非営利

団体で経営し、保険で得た収益は医療面に還元する方式で、従ってたとえ被保険者の為めとはいえ我国の一部団体のように、その収益で保養所を建てたり結婚式場を経営するということはない。此の保険も医療費の値上りをもろに受けてこゝ五年間の掛金は五〇%値上りしている。給付内容も或種の制限を始めており、高医療費を充分に賄っているとは云えない。ブルークロスは病院を対象としているので一般家庭では別にブルーフィールドに加入しているのが普通で保険掛金は年間平均八〇〇ドルから一〇〇〇ドル(二四万―三〇万)これ等保険の給付期間は一二〇日が限度、支給の割合は六〇%程度で、正常分娩一二〇〇ドルであるのが一般なのにこれの給付が一〇〇ドルなので問題にならない。又長期療養が必要な患者は一二〇日ではとても実情に合はない。全費用支払い方式や長期加療や重症医療保険も純粹の民間保険としてあるにはあるが年間掛金は三〇〇〇ドルから五〇〇〇ドル以上で一般市民には手が出ない。厚生省調査によるとアメリカ国民の八五%は万一に備えて何等かの保険に加入している。併し実体は短期医療保険で、長期治療のものには無効のものが多いのである。

第二次世界大戦后急速に発展して一九三六年に発足した「カイザープラン」は企業王「ヘンリーカイザー」が発案したもので会員制医療システムである。七〇年末会員二〇〇万人契約医師二〇〇〇人、病院、診療所七五その範囲はカリホルニア、オレゴン、ハワイ、コロライドの五州に及んでいる。会員は家族共加入で年間四〇〇ドル

(十二万円)単独加入で年間一五〇ドル(四万五〇〇〇円)を前払すれば必要な時は組織傘下の医療機関で受診が出来る。更に病気の治療から予防を含めての早期診断早期治療、健康管理と重症になる前の治療がこのプランの骨子で、又こうした方針で医療費を低水準に押えようとし、これが医療危機解消の極め手であると、自画自賛している。又医療費前払方式での一定地域住民間に「地域医療計画」がある。各地に広い支持があるがその恩恵を受けているのはカイザープランを中心に約七〇〇万人(家族共)に過ぎない。果して地域医療計画が自由診療の国アメリカに成功するか否かは今後の問題である。一九六九年七月、ニクソン大統領が医療危機問題を公式にとりあげ国民健康保険制度導入のプランとして所謂ニクソン法案と呼ばれて居るものを示し現在各方面で検討されている。

その案はメデイケイト、メデイケアの医療福祉政策を一步前進させて健康保険制度を創設しようとしているもので、骨子は雇用者に従業員を対象にして保険を行うことである。従業員の病気には最高五万ドル(約一五〇〇万円)まで医療費を支給する。この制度にもれる自由業者や低所得者層には別に政府管掌の保険制度を創設する。特に年間所得三〇〇〇ドル(九〇万円)以下の全家族、五〇〇〇ドル(一五〇万円)以下の大部分の家族は医療費全額を政府が保険金で負担する。以上がニクソン案の大様であるが、これで一九八〇年までには国民の八〇%がこの計画に包含されることになる。地域内の医師の撰択の自由などの条件を付し一種の社会化を打出して自由

診療一本槍のアメリカ医師会の抵抗を避ける配慮をしている。

ニクソン法案に対抗してケネディ案が抬頭して居る。ケネディ上院議員とマースーグリフイス下院議員の共同提案であるが、骨子は雇用者は収益の一、五%を従業員は給与所得の三、五%を税負担し残りは政府の一般財源で補う。この結果政府は総医療費の五〇%乃至七〇%を負担することとなる。国民は請求される料金の心配もなく必要なときいつでも医療の恩恵が受けられる。医師のグループ診療を積極的に奨励し医師の月給制を普及させることで医療費とコントロールしようとしている。政府案に対し（ニクソン案）ケネディ案側では健康保険といえる内容ではないと誹謗している。一方政府側も七六年には政府負担が七七〇億ドル、歳入の四分の一を占める膨大なものとなるので此の案の実現は不可能、壁に面の類だと酷評している向きもある。アメリカ医師会はケネディ案は余りにも急進的であるとして政府案を支持している。又全米労働組合傘下の米労働総同盟産別会議（AFL・CIO）はケネディ案を支持し賛意を表しており両案の折衷妥協というところが落ちであろうとも云はれてゐる。何れにしても、自由診療国アメリカで健康保険制度を導入して医療の社会化をはかろうという意欲の旺盛している事実は見逃せないところである。既に日本のなめた統制健保制度の苦杯を先進国アメリカがなめようとしている。前車の轍を踏まざることこそ賢明であるというべきである。

アメリカでは開業医の診療所は入院ベットは無い。病気の回復ま

で開業医は一貫した治療に当るのが建前であるので重症になれば契約してある病院に入院させる。この場合病院は単に施設と施設従属のスタッフを提供するのみで患者治療の責任はあくまで開業医にある。これがオープンシステムと呼ぶ独特な制度である。従って多くの開業医は三つ四つの病院と契約して入院をさせている。病院に於ける患者治療の全責任は開業医にあるが忙しい開業医に代って専門医を目指して病院に勤めているレジデント（研修医）とインターンが開業医の指示を受けて治療に当るわけである。

開業医にとっては病院に於ける診療の占める比重が高まっておるの
で各々その分野での専門医間の連繋が不可欠となってくる。又同時に
新知識の積極的吸収が迫られてくるわけで文献、雑誌、研究書よ
りの新知識の獲得に努力する一方各種の研修会に出席して学習に努
める。大学の症例研究会には必ず出席する。そして教授陣や新進若
手医師との意見交換や徹底的な討論が行はれる。時には若手医師よ
り手厳しい批判を浴びせられることもある。多くの開業医はこの外
毎日最低二時間位の自分なりの学習を怠らず行っている。我国の開
業医は如何、朝から深夜まで患者に追いまくられて録々休養の余暇
もなく、採って居る医学雑誌にも充分眼を通すこともなく塵にまみ
れさせる場合が多く学会や大学の研修会に顔を出すことも稀である。
これではアメリカの開業医と我国の開業医とに質的格差の出て来る
のは当然で止むを得ないことである。

アメリカの病院には死亡検討委員会と病院施設利用委員会との二つ

の委員会が常設されている。此の二つの委員会は法律的には何等強制されているものではないが医師も病院も自主的に誤診防止、悪徳医の追放に自浄作用を行う一つの機関である。

死亡検討委員会は入院患者が死亡すると各科専門医、病理担当医等の構成委員員によって解剖所見の検討を行う、誤診の有無を糺す、検討結果をコンピューターに収め誤診率の高い開業医との契約取消し、又常勤医の解雇に役立てている。病院施設利用委員会は副院長内外科専門医総看護婦長との構成で入院期間の適切妥当か否かに就て検討する。そして弱い立場にある患者の側に立ってこれを護り、悪徳医師の追放に役立てゝいる。場合によっては開業医の病院との契約取り消しともなりかねない。

契約を取り消されることは物心両面より極めて致命的であり、その意味でこの委員会の持つ役割は重大である。我国にはこうした制度も又組織もない。医師の道義が論じられ技術の面でもアメリカ以上に多くの問題を抱えているはずなのに末だこうした自浄作用的組織の芽生えないことが不思議であるというより寧ろ幸せである。

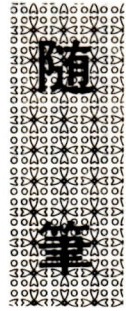
アメリカ開業医の研修的態度もこうした周囲の状況に迫り込まれた謂はゞ環境順応形の護身術でもあるわけである。

最近開業医を悩ましている問題に診療過誤に対する告訴事件の激増がある。診療過誤つまり適切な治療を怠ったり誤った治療をしたという事で患者から損害賠償を請求される例が目立って増えている。この種の訴訟は毎年一万件を下らない。平均賠償額は五万ドルにも

上る。開業医は一般にこれ等に備えて診療過誤保険に加入している。内科では一〇万ドル位、年間保険料八〇〇〇ドル、外科医は一度過誤を起すと賠償金が数十万ドルに上るので年間保険料三・四〇〇〇ドルに加入している。

アメリカは診療過誤をめぐる医師と患者間は、我国とは比較にならないほど厳しいものがあるので常に緊張関係が存在している。それだけに自分の診療に対する責任が重大視されるわけで、この点我国の事情とは大分違うが併し最近我国でも世界的風潮といおうか医療過誤に対する紛争や訴訟事件が増加しつゝある。而もその傾向は年々増加している。現在では数に於ても又賠償の額に於てもアメリカの比ではないけれどもこのまゝである筈はなくこの面でも急増しつゝあることも事実で、情報化時代の悪い一面でもある。我々日本の開業医とても決して安閑としてはられないわけである。





珍版「看護婦物語」

池 田 聖

現在どこの医療機関でも、最も深刻な問

題は看護婦の不足であらう。私の所もご多聞にもれず、その補充にはいつも頭をなやましている。やっと見つけたと思ったら、馴れてきた頃に辞められたりしてなかなか思うようにならない。開業してもう十年にもなるが、その間に看護婦の出入りが激しくて、今まで二十人程が入れかわり立ちかわり勤務したことになる。その間には変わった看護婦もいて、いろいろ面白い話がある。尤も看護婦の出入りが多いということは、待遇が悪いか、魅力のない職場であることの証明のようなもので、本当は自慢にも何

にもなるものではない。

ただ一概にそう批判されるのは、やゝ自尊心を傷つけられることになるので、丸四年間も勤続した看護婦が一人いたことを立証しておく。

勤務期間といえ、一番短かったのは一日というのがある。正確に申し上げると約九時間である。翌日は全く姿を見せないわけで、こういう手合いは初めて見習看護婦として応募したものが多い。

何か他の仕事をやっていた者が、看護婦でもやってみようかしらとフト思いついた人で、一日やってみると、これは思ったよ

り大変なもんだと、理想と現実のくい違いにすっかり考え直してしまったわけである。一日市長とか、一日局長とかは愛嬌があるが、一日看護婦というのは余りほめた話ではない。

色気があったり、話の面白い看護婦は使っても楽しいもので、どうしても必要以上に冗談を云ってみたりして、第三者から妙な風に見られることがある。診療所と家庭とが同居しているようなところでは、そのため磨擦がおきたりして、せっかくの良い看護婦がやめていったりすることがあるようである。

「自分の店の口に手をつけると、大変なことになりますよ」懇親会の席上或先生が神妙な顔をして述べられたことがある。

「急に金をごまかすようになるんですよ。半分自分の診療所みたいな気になっちゃうんですかね。私も弱身があるから、見て見ぬふりをしますが、ずい分やられましたよ」

もっと艶のある話が聞けるものと期待し

ていた私は、あまり現実的なのに驚いて返事も出来なかったものである。

美人の看護婦を雇うと、男の患者が多くなるのは事実である。私の所は産婦人科なのに拘らず、その看板を無視した若い男がやってくるから奇妙なものだ。

どこも悪くないのに、こゝが痛い、あそこが痛いといった注射してもらって喜んでいる。こっちは面白くないから「もう今日だけでいゝよ」といったりすると、不満そうな顔をして、「心配だからもう二、三日来てみます」とか何とか云って医者を信じないようなことをいう。

男の患者でも多くなるのは有難いことで、はじめはそれと気がつくと、頃合いを見はからって席をはずしてやりたりするが、あまり何べんも来ると、その看護婦をとられやしまいかと被害妄想的になって、急に邪険に扱ったりするようになる。人間というのは全く勝手なものである。

ミニが流行しだした頃、いち早くミニをとり入れた看護婦がいた。ミニスカートに

ミニの看護衣という、い、い、い、である。

朝の掃除の時は、床に手をつけてぞうきんで拭くことになっていたので、彼女が拭いているところになつてぶつかる、太腿部のつけ根まで見えてしまつて、その白い若々しさに圧倒され、ドギマギすることがあった。また夏の暑い時など、素肌の上に直接白衣を着る看護婦がいて、偶然着替えの瞬間を見てしまったときは思はず息をのんだものである。

静岡から来た看護婦で焼酒をのむのがいた。その飲みっぷりは、酒の好きな私でもあつけにとられる程であつた。何かの拍子に飲みたくなると、近くの酒屋へ行って焼酒の小壺を買つてきて、コップに注ぐと、目の前で一気にのみはしてしまうのである。いつも一杯しかのまないが、のむとすぐ「さあ、寝よう、お休みなさい」といってサッサと自分の部屋に引き揚げてしまう。酔っぱらつて、からむわけでもなく全くカラッとした陽気な飲み方であつた。その看護婦が、少しづつ世帯道具を買い

集めて一通り揃つた頃、男と世帯を持って辞めていったのはいゝが、二、三カ月たつてから臆面もなく、妊娠したからオロしてくれとやつて来たのには驚いた。焼酒をのむ位だから、痲酔が効かず途中で暴れだして全く往生した。

飲むことで思い出したが、バーに関係した看護婦が三人もいた。一人は準看の学校に迫いながら私の所に勤務していて、夜は国立のバーにつとめるといふ、三足のわらじをはいていた。

友達とアパートを借りているから通勤にしてくれというので、許してやったら実はかくれてバーで働いていたのであつた。

もう一人は、初めからバーのホステスであつたのを人手が足りないので来てもらったところ、患者として来るホステス嬢を皆知っていたので、まづいことになってやめてもらったことがある。

それからもう一人は、私の所をやめてから近くのバーに勤めたのであるが、今では他に店を持ってママさんと呼ばれる女にな

なっている。

以上のようなのは別に問題にならないが、手くせの悪いのには困ってしまう。

病院勤務の経験二年という看護婦をやったときの事であるが、成程よく働くと喜んでいたところ、一週間した給料日に他の看護婦の給料をそっくり失敬して、そのままだろんしてしまった。

二、三日して履歴書の住所を当ててみたら、全くのでたらめで計画的な犯行であった。看護婦不足の弱味につけ込んだ新手の商売であらう。今頃はまたどこかの医療機関でスキをうかぶっていることと思う。

手くせが悪いといえ、つい最近、前の勤務先から注射のアンブルをくすねて来て半額で売り込んだ看護婦があった。サンプルを貰ったのだが処置に困っているといっていたので買い取ったが、あとで真相が分ってビックリした。

福生では既に二軒の被害があり、某先生などは、名前を公表して西多摩からシメ出してしまえといきまいて居られたが、それ

はこの随筆から逸脱してしまうのでやめますが、現在同様の経験をお持ちの先生があらうたら是非公表して下さい。

さて、今いる看護婦は………これはよししておきましょう。批判したことが耳に入れば勤務に支障がおきるし、人手不足の折から辞められでもしたらそれこそ一大事であるからである。

この駄文は昭島医師会報（昭和四十四年十二月号）に投稿したものの一部筆を加えたものです。



動脈硬化・高血圧の愁訴に



エベラ ニコチネート

血流不全による愁訴を改善するだけでなく、血管を強化し、眼底出血や脳出血の防止に役立ち、また、脂質代謝を改善し、血管の弾力性を保持します。

咬みつ き「チャック」

つ　つ　み

幼児の心をウキウキはすませる様な童話的な題名ではありますが、こゝに登場する主人公達にとっては、全く身震いし度くなる様な嫌な思い出であり、早いとこ忘却の彼方へと押しやり度い気持で一杯でありましよう。

短い時間の出来事とはいえ、そのバツの悪さと又それは何ともひどく苦々しい経験であつたからなのです。

即ち、如何に変幻の自在を誇る我らの象徴でも、一度「チャック」に咬みつかれんか、もう、ニッチもサッチもいかず、はては、全ての行動の停止を余儀なくされ、一寸で

も逆らい、もがこうものなら、それこそ裂けるような痛みがつッぱしるのです。

いつだったかの医事新報に二つの症例が掲載され、うまい取りはずし方も記載されていたがと思いましたが、失念してしまいました。私も去年、今年と一例づつを得たので、ふと書く気になったのです。

その一、去年の初夏の事です。午前の診療を終って診療衣をぬぎ、窓外の新緑を眺めながら、ブカブカと一服しておりまして。その時、長髪の若者が腰を曲げられるだけ折り曲げ手を丹田の附近におき、そろそろとオッカナビツクリの珍妙な恰好で入って

来ました。その顔は青さめ、油汗さへにじんでいるのです。私は直感で『こいつあ、アッペのベルホリだなあ』と思いベットに寝る事を指示しました。

「いつから痛み出した？」

「腹ぢゃないんです、先生、チャックで……」その声はか細く、力がありません。成程、股間をのそくと、チャックで包皮がガツチリと咬まれて象徴は釣り上げられて天を仰ぎ、何としても痛々しく哀れな恰好です。丁度スッポンが悪童に首根っこをつかまれ足をバタバタとものがきながら、

『もうやめてよお、堪忍してー!!』と悲鳴を上げ悩んでいる様な態なのです。

「さあーて、どっちも壊さずに、ウーン、どうするか」と独り言のように呟くと、すかさず、「先生、チャックの方は壊していいんです」

その声は上ずり、困惑の情がにじんでいます。それは（わかり切った事ぢゃないかよお、早いとこ楽にしてくれよお）とも聞えるのです。

「ようし、話はきまった」私は物置きから探し出してきた錆ついたペンチを使って、チャックの止めを捻切り、ズボンの前聞きの部を両サイドに引張ると簡単にバラバラとはずれました。二ヶ所の咬み跡をつけられた象徴は、さすがに、ぐったりと疲れはてて、主人の不手際に無念やる方なく、フーッと深い溜息をついているかの様にさへ見えるのです。

「なあ、君、急いては事を仕損じるって諺があるよなあ……ちゃんと格納した事を確かめて、チャックを前方に引張るようにしてやんなくちゃあ」。

若者は照れ笑いして、頭をかきかき、「いやあ！　びっくり仰天しました。もうこんな、へま、やりませんよ」その顔にはホットした安堵の情が、にじみ出ていました。

受付けに初診料二〇〇円をおいて、帰っていく後姿には、何事もなかったように、腰も伸び、長い脚を細いズボンに包んだ恰好のいゝ別人の様な若者になっていました。

その二、今年の夏の或る日、洗濯屋のM造君が変にニヤニヤして頭をかきながらやって来ました。キヨロキヨロして、辺りをはばかり様に、小さな声で

「チャックで怪我したよ」

「自分ではづしたのか」と聞くと、照れくさそうに又、頭をかいて領づきました。処置室に連れて行って診ると、やはり二ヶ所傷があり、共に皮が小さく、ひん剝かれ、周囲は浮腫状になっているのです。

「大分無茶したなあ。それにしても痛かったろう」。

「先生、痛いなんてもんぢゃねえよ。相当に効くねえ。」

その語調には苦痛と恐怖の実感がこもっていました。私は創にガーゼを当て伴創膏でとめておいたのですが、M造君は、やゝ不満顔で

「包帯巻かんでえゝのか」ときたもんです。

「バーカ！　そんなとこ包帯巻いたって意味ないよ、考えりゃ、わかりそうなもんだ」

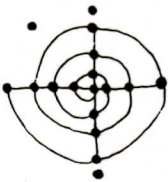
「ああ、そうかあ、それはそうと先生、

コッチは大丈夫だろうか」と真剣な顔なのです。

「さあーねえ、当分は煩惱を捨てて、只々仕事第一、稼ぐ事に専念しなさい。でないとぢゃ、あなたの自慢の奴も、黒くなって元からボロリだ。そうなりゃ、あなたが泣くだけぢゃ済まん、取り返しのかん事になるよ」

「まあーた、またあー、先生、あんまり驚かさないで下さいよ」と頭をかいて、怨めしい様な、又心配なと云った妙な顔をして帰っていきました。

一週間程後に、オートバイで配達に精をだしているM造君のいつもの颯爽たる姿を見かけましたが、摂生これ務めたらしく、ボロリといかず済んだようです。



ホールインワン

宮 地 誠

昭和四十七年十月五日 高麗川C、C、16H

一八六 Y 無風 曇時々晴

当日江本先生のさそい一緒に十月三日オーブンしたばかりの高麗川C・Cに行こうと思つて居ったところ保険書き事務未了のため江本先生よりことわりの電話あり、急ぎ知人青山、友人本多の二名をさそい午前八時十八分アウトよりスタート。何時もの豪快なドライバーショットがこの日は出ずテンブラウテヨロが多発して稍々うんざりそれでも開場したばかりのコースとしてはライは上等 コースも短かく O・Bになるコースも少なくアウト四六で十時半頃あがる。次いでインコースに移る。焼火エンジンもハーフ廻ると調子が出始め、ショットも何時もの様に球も飛び出した。我々のグループは三人であつたが飛入り一

名が加わり、四人で廻ることになった。

後の組は 三人で我々の組を急げ急げとせきたてる。気の弱い本多君は 先に行かせようかと相談を持ちかける。私は見るところさほど上手な連中でもないし、我々が急げばよいので、なにもゆずることもあるまいと そのまま先に行くことにした。問題の十六番ホール こゝに売店あり ここで後続のグループに先をゆずることにした。そして売店に入りジンシアエールを飲みトマトジュースも追加し一服して店を出る。追越した三人の内一人実に下手な人が居り 左斜面にうちこみ そこから三回うってオenseず やつとのことで五オンオーナーの私はやゝいらいらぎみ やつとのことでグリーン上の組から打ての相図あり一八六ヤードの距離、普通なら三番アイア

ンを使用するところ予感といふかクリークを使用する気になった。刀まず打ったボールはライナ性に飛び グリンでまへよりランし、ピンに向つていゝ方向で馳け上つた。グリンは砲台グリンでこちらからはピンだけしか見えない。拍手していたグリーン上の三名がホールインワン。ホールインワン。と興奮した声を出す。私はいっさんに馳けてグリーン上のピンを抜きホールインワン完成!!

側の人がいやに興奮し当の本人は呆然。これがホールインワンぽけとでも云ふのでしよう。十六番ホール以後は私のボールは真直ぐすいすいと飛び他の三名はよれよれ従つてインコースは四十二であがつた。奇跡は思いがけぬときにあらわれる。夜は飯能でグループと一緒に芸者をあげてどんな騒ぎ お陰で財布は空っぽとなる。帰ると又子供を呼び集め祝宴。

往診奇談・珍談

五日市 S・K 生

往診は専門医の中でも内科が最も多く要

請されるものと思う。又宅診と違って往診

に於ては、患者及び患者との幅広い心の繋

がり、いわば医師と患者との真の人間関係

ができ、又往診時の医療の不便さ、又は不

備さはこの事によってより一層の親密度を

加えるものでありましよう。古来家という

ものは、法的に占有権が強く尊重されてお

り、又近くは、ブライバシーが一段と喧

しくなつて来ました。往診で訪れて家庭の

中に奥深く立ち入り、しかも危急取り乱し

た最中を案内され、其処に人生の縮図を見

ることが出来るのは、医師のみに与えられ

た持権でもあろうかと屢々思うものであり

ます。

小生卒業後、二度の応召を含めた三十数

年に経験した二、三の奇談・珍談を、貴重

な紙上をお借りして書いてみたいと思います。

“ 何とかなるもの ”

召集解除、帰省後三日目の昭和廿一年二

月某日の昼下がり、古い軍隊服を着た四十

才前後の男が、「隣村の者だが、今、女房

が、胃痙攣で苦しんでいるから往診して

欲しい。」といつて来た。腹痛というが、

「上の方か下腹か、嘔気はあるか無いが、

便通はあるか」と、医者としての一般的質

問を、又妊娠（流産）も慮つて、月のモ

ノはどうかと、聞いたら「そんな事は知

らない。」との事。とにかく、往く事にし

た。昭和十三年頃、丁度日赤に居た頃買っ

て置いた、真赤に錆びた自転車を持除し、

其の男と共に、五時間余りかゝつて、六根

清浄、胸突八丁、山又山の、松原村の湯久

保という所に、やっと辿り着いたのが夜の

十時を、少々廻っていた頃かと思う。薄暗

い小汚ない家の中には三〇一四〇名も居た

であろうか、村人が集つて居て、五、六人

が神仏に向つて何かお祈りして居る者。物

陰で三、四人何事かヒソヒソと話しをして

居る者。又、用も無いのに、右へ左へと歩

き廻つて居る者。とにかく、尋常でない様

子であつた。

ドレドレと、やおら拝見して、又驚い

た。オ産ダ、オサンダッタ 困つた。

ダカライッタジャナイカ。胎児は、頭部露

出し、明らかに正常位（第一後頭位）であ

つたが然し陣痛微弱、母子共に誠に重篤な

症状。死は、直ぐ其処に迫っている。

キネトコログならぬズブの素人の小生が、

こんな事をいうのは全くどうかと思うが、

事実だから仕方がない。標高五、六百米の

山の中の一軒家、無医村、産科医の居る所

迄、三〇一四〇キロの所、しかも助産婦さ

え居ない。家の者と村人が、「助けて下さ

れ先生様」「何とかして下され先生様」と

代る代るに平身低頭。三拝九拝、相手は素

人。説明してみても、また怒ってみても仕方がない。

とにかく、やって見る以外にない。此処には医者は小生しか居ない。俺がやる以外はない。

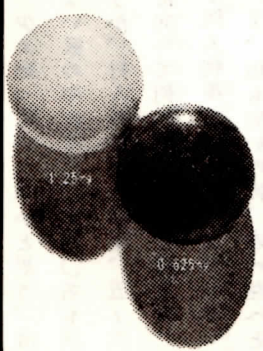
専門医とか何とか、そんな綺麗事をいって居る間に半日以上も過ぎた。よし一番やってみよう。出ようとするのを出せば良いのだらう。往診靴の中には、ビビットリン、アトニンとか、産科的薬物は全く無く、たゞGと強心剤、トロンボゲン等の、補助的薬剤のみ、石鹼浣腸（当時石鹼があれば良い方だった。）導尿には困った。勿論「ネラトン」はなし、庭の片隅から篠（竹の小枝位）を用意させ、どうやら間に合った。後は五寸釘二本、ペンチ大小二本、ヤットコ一本、木炭切断用の弓状の鋸一丁を煮沸消毒、真赤な赤錆の液、とにかく消毒は終った。顎門より五寸釘を挿入、ペンチヤットコで漸次拡大、脳内容物排除後、両手指（示指、中指）を捜入し、鉗子分婉式に力一杯後下方から内上方へと引張った。

（死んだ親爺がよくこんな事をいつていた。）かくする事三〇―四〇分にして、やっと出た。後は産後の処置型の如く一応了って、ヤレヤレホットした。やるだけはやった。後は天命を待つのみだ。経過観察の為、囲炉裏端で皆の者と薯焼酒を飲みながら、小一時間話し合ってた。産婦は？と見るといゝ気持ちで寝入って居た。其の内に、実に品のない「ブーッ」と、一発大放屁。

いい気なもんだ。

母の生命だけでも助った喜び、いろいろと感謝の言葉を背に受けながら、もと来た道を村人二人に送られて。フト空を見上げた。下弦の月冲天よりやや西へ傾き、折柄一羽の鳥が月を掠めて過ぎて行く。下から深く生えて来たような霜柱を、ザクザク踏み砕きつつ。

追記 此の女房 翌年又出産、現に八人の母とか、亭主も亭主だが、女房も女房だ。生への力、誠に雑草の如しか。



更年期および更年期後の婦人に！

プレマリン錠

〈天然・結合型エストロゲン製剤〉

■特長 1.天然水溶性のエストロゲンです。2.高力価を含有します。
3.経口投与で活性です。4.更年期障害の諸症状を速やかに寛解させしかも健康感を与えます。5.閉経期後のエストロゲン欠乏により起る種々の代謝異常を改善します。

■包装 プレマリン錠 1.25mg(黄色) 105錠、525錠、1050錠、
プレマリン錠 0.625mg(橘色) 105錠、525錠、1050錠

健保適用



製造発売元
東洋醸造株式会社



提携
アイヤースト・ラボラトリーズ

秋

祭

F 生

今日は、朝早くから、笛や、太鼓の音が聞えて、どうやら村の秋祭りも、良い天気らしい。山峡の秋は、早い、庭の猿すべりの花がまだ咲き終らない中に、葉は散り始め、昨日迄燃える様に咲いて居たサルビアの花も今朝は焼かれた様に霜枯れ、よく晴れた朝の光に、真赤になった烏瓜が実に美しい。

澄みきった空には、早や、赤トンボの数も少なく、山の中腹に立てられた祭の幟も、浮き上る様に近くに見え、笛や太鼓の音も透き通る様に村中に響き渡って、若者の心をかき立てる様に舒して行った。

朝の冷たい風に脅え、そろそろ寢床を抜け出すのを厭われる私にとっては、日曜日の朝こそ吾が掌中の珠であり、限りなき空想を恣にする時でもある。枕許には、昨夜

飲んだ、ウイスキーの空瓶が転がり、煙草

の吸殻は、灰皿を埋め、十数本の老の、秋の抜毛が、枕カバーに附着して、今朝迄飲み乍ら読み続けた古書の上に、真二つに割られた竹刀の鏢が乗っかって居た。何気なく、其の二つに割られた竹刀の鏢に手を触れた私は、昨夜見た少年の美しい桃色に膨れ上った艶のある、逞しいベニスを思い浮べて、こよなき空想と快感に耽って行った。昨夜、十時頃でもあっただろうか、五、六名もの少年剣士共が、白鉢巻に竹刀を腰にして、小生の診察室に雪崩れ込んだ。

よもや、仇討!! いやいや実は、明日の祭の花でも頂戴しに及んだのであろう……「ヤア、元気だね……明日は、お祭で御前試合か……一寸、待って呉れ、今年は君等の為に、ひとつ、花をかけるか

……」

「……」

「ソレ、此れで、皆んなで今晩は、一パイ餅でも喰べて、明日は、刀一パイ太鼓でも叩けや……」

「……」

「オイ、皆、何うしたんだい、妙な顔をして……」

「イヤ、先生、善公が……困っちゃったナア……」

「ナニイ、善公が……どうしたい……」

「善公!! ホラ、先生に早く見せろや……」

……

「エ、君等は、花をもらいに来たんじゃないのか……」

「……」

「どうした、善公、どうかしたのかい……」

……

「ウン、先生……鏢が、抜けなくなっちゃったんだア……」

「ナニイ、鏢が……抜けない……判んねエナ……」

善公は、悲しそうな顔をして紺の行燈椅の紐を解き出した。

「腹でも痛いのかい……」

「……」

椅をずり降ろした善公のパンツは、はち切れる様に前につゝ張って、ヒクヒク何やら蠢いて居る様であった。

「何だい、ソレは……」

嫌がる善公のパンツを仕方なしに断ち缺で切り開いた私の眼の前には、鏝をはめられた、善公の、イキリ立った一物が、今にも小生に“お面”の一撃を加えると思はれる様な勢で快立して居た。しかし、若者のそれは、男女を問わず、身体の何処を見ても美しい、陰毛の少し許り生えかゝった模元に鏝をはめ込まれた彼のペニスは、未だ、一遍の磨耗を許されない菲薄な皮膚の滑かさと、充血の為に、ピンクに膨れ上って、未だ、少し皮を覆った、其の亀頭は、無花果の実が、其の白い乳を充分に吸い上げて此れから正に、はぢけようとする以前の様であった。

「オイ、善公、お前は、又、器用なことをしたナア…… ハハア…… コレで、何を切るんだい…… 痛いか……」

「ウン、余り痛かネエ…… デモ、抜けネエのヨウ……」

「ヨシヨシ、今抜いてヤラア……」

しかし、安易に考えた私は、石鹼をつけたリ、オレーフ油”を塗ったり、捻ぢって見たり、したが、善公の一物を触ったり、握ったりすれば、益々彼は、怒り狂って膨張し、指環を、指から抜く様には、容易には抜けては呉れなかった。

「仕方ない、オイオイ誰か、糸鋸を持って来い……」

「善公!! お前ン所は、大工だからあるベエ……、俺、行ってかりて来ベエ……」

数分の後、私は、彼の膨れ上った一物を押え、大工の倅は、己の倅を、傷つけぬ様に用心深く、膠質の硬い鏝を、少しづゝ器用に糸鋸で挽いて行った。

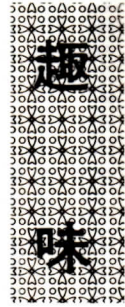
秋の夜長に、小一時間も続けられた、此の作業の間、私は、我々の少年時代にも、

いや、男性がペニスを持って以来、連綿と続けられて来た、斯様な諸業を、見たり、聞いたり、そして、読んだりした数々を想い出し乍ら、善公の真剣な顔に、得も言はれぬ、可憐さと、ほゝ笑ましさを感じずには居られなかった。

枕許に投げ出された“江戸小咄”中の“昨日は今日の物語”（寛永十二年）にも、此んなのがある。

ある比丘尼寄り合て、色々物語をして遊ばれたる所へ、わやくなる者行きて、戸の節穴より、わたくし物を、いかにも見事に仕立て、によつと出す。あるじの比丘尼これを見つけ「やれやれここへ何やら知らぬ、虫めが出た、そんな金火箸を焼いておこさい、取りて捨てふ」といふ。金火箸のくる音を聞て、かの物を引ければ、比丘尼うろたえて「今迄こゝにあつた摩羅が無い」と云はれた。……

今頃、善公は、すがすがしい朝の空気を胸一パイに吸い込んで祭太鼓を叩いて居ることだろう。



漢詩の作法と歴史（その三）

（福生病院勤務） 岸 田 壮 一

既述の如く、唐は漢民族の最も栄んな時代であり、その後「宗」と「明」という漢民族の国家があるが、唐程力強い国ではなかった。そのためか詩も巧緻になっても唐時代程の Vitality に富むものはあまり出ていない。却って蛮族であって中国の地を征服した「金」や「之」や「清」の人が比較的いいものを書いていく。清は満洲から起って現在の中共の版図である全域を統一して出来た国家であって、西欧文明の東漸に遭い、最後には阿片戦争や日清戦争で諸外国にいじめられて、国全体をみじめな状態にしてしまったけれど、乾隆、康熙両帝の項は文字通り中国で、国運隆隆た

るものがあり、多くの学者を飼殺しにかかえ込んで中国始まってからの文化の集大成を作って後世に遺している。

「康熙字典」や「佩文韻府」などはこの頃出来たのである。殊に後者は作詩の最高の参考書であり字引であって、韻に従って字を並べ、その字を用いた熟語につき、一切の解釈を述べず、古来の用例を遺漏なく網羅したもので、この種の辞典は古今東西になく、中国特有のものであろう。今はゼロックス、リコピーの方法もあるから、このまま複製することも容易であるが、新にこんなものを編纂することは今後も絶対に出来ないであらう。

我が国では中国大陸との往来が始まった頃から、唐の文物が頻りと輸入されているが、大和朝時代に「遣唐使」なる留学者に当るものが主として陽子江沿岸に上陸して陸路、長安に至ったようである。当時の我が国にとっては唐はトモ比較出来ない大国家であり、高度の文明があった。特に文字が意志の疎通が出来たり、相当複雑な感情の表現や抽象的意味の表示まで可能であることなど全く驚異的であつたに違いない。

阿部仲麿は盛唐の頃長安に来て、その才能を認められて、宮中の図書館の長官となつて名を「晁衡」と改めた。やがて帰国する時が来て、その送別の宴で「王維」という人が作つた詩が次の通りである。

送秘書晁衡還日本国
王維
積水不可極 安知滄海東
九州何處遠 萬里若乘空
向國惟看日 歸帆但信風
驚身映天黑 魚眼射波紅
鄉村扶桑外 主人弧島中
別離方異域 音信若為通

詩の形は五言排律である。その頃の航海はこの詩のように危険なものであったらしい。仲麿の船は暴風雨に遭って消息を絶ち、日本には着かないで、今のマレーシアかベトナムの辺に漂着した。月を眺めて

天の原ふりさけみれば春日なる

三笠の山に出でし月かも

と詠んだ。仲麿は結局再び長安に連れて行かれて、ここで生涯を終っている。

こんなことがある中に我が国民は漢字を使うことを覚えた。ただ困ることに漢字は一字一字音と意味とを両方持っている。これは漢字の特徴でもあり、欠点でもあるのだが、意味をあらわそうとすれば全く別の発言になり、発音を示そうとすれば意味が全く違うものを指すようになる。それでも何とか漢字を並べていたのであるが、発音だけを示すための漢字を「萬葉仮名」から変化させて平安朝時代には「平仮名」、「片仮名」を考案した。朝鮮でも同様なことが行われている。

それでも唐の制度を倣おうとする熱意は

異常なものがあり、「大宝律令」などもそのあらわれであろう。結果的には直ちに成功したとはいえないが、「平城京」や「平安京」への遷都など行っている中にだんだんと国全体に意気は浸潤してはいる。この間に文を綴り詩を作ることが官吏の能力であり資格である風習も伝っている。

唐時代の詩は余程我が国の中でも主として上層階級には愛読された如くであって、今に残る和歌や謡曲或は逸話の種になっていることは周知の通りである。

和歌の五七五調は漢詩の五言、七言から来たことは勿論で、考えようでは漢詩はむしろかしいし、字を見せないと分らないからこんなものを考えついたに違ない。でもこれは長く公卿階級や上流武士だけの専有物であった。

中国でも宋の時代になると所謂資本主義が発達して来て、民衆もいくらか利巧になっている。西欧のブルジョアの発生と同じかも知れない。要するに分業が行われるようになって、交易が盛になったのであろう。

起源は存外中近東、中央アジアあたりであったのようでもあるが、所謂 Bazaar 市場 Market が出来て、これを中心に都市形成が行われ始めている。それまで都市は政治中心であったが、経済的意義が強くなった。人の集まる機会が多くなった。その Bazaar の広場の一角に物語を語る職業も生れた。ただ文句を語るだけでなく、絵を以て説明したり、実際の仕草をやって見せる芝居や劇も起って来る。その物語も出鱈目にやっていたはまともりがつかなかった。一応の筋書を作る。Writer や Author が職業として成立つようになった。この頃出来た物語に「水滸伝」、「三国志」、「金瓶梅」、「西遊記」、「紅樓夢」、「平妖伝」などがある。これは全く荒唐無稽のものではなく、いくらか史実があつて、民衆の喜びそうな尾鱗背鱗をつけて着色したものであり、その表現方法が中国一流の大法螺が入っている。だから同じものでも大体の筋書は同じでも Vitality によって若干の相違がある。

こうした大衆文学は室町時代から徳川時代に掛けて我が国にもたらされた。これをもじって「里見八大伝」やら「何とか水滸伝」のようなものが書かれたりしている内に、文学が民衆に浸潤してくる。古典を読み和歌を作るのは上層階級に限られていたが、俳句などの淡白で簡素な表現で大分摧けたものになり、更に川柳などで町人長屋にも入り込んだといえる。こんな行き方は五言絶句の日本化的精神が加入しているとも考えられる。

聊か話が横道に入って恐縮であるが、所謂道鏡巨陰説などは川柳が流行ってから言われ出したものだそうである。歴史の暗記の方便である。女帝称徳天皇を慰め奉るために、臣下である自分が帝を下にしては恐れ多いと女性上位の体位を考え出したというようなことはいくらか事実な要素があったとしても、つまりは下世話である。こんなことはそれ以前の文献にはないそうである。

よく世間では明治維新後になって外国の

学制を研究して、一挙に小学校の義務教育

を法制化した如くいうが、既にこうした諧謔味を持つ話から来る学問があり、寺小屋などと共に相等に教育が普及していた如くであって、維新の政治家の功績ばかりとはえない。ただ徳川三百年の鎖国時代に長崎

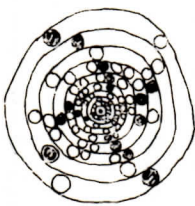
の出島なる小さな唯一の窓からしか入らない西欧の事情が我國の識者に存外よく理解されているのは不思議である。全く驚嘆に値することがあるが、これらの有識者は何れも漢学によって育ち、その多くは漢詩もよくするものであったことは大いに注目して然るべきものというべきである。その証拠に欧語を訳するとき我が国の日常語に適当なものが見当らない時は必ず漢籍を引用して、概ねその表現に近いのではないかと書いている。例えば英和辞典にしても殆んどそういつた形式で出来ている。大槻文彦がウエブスターを見て、我が国にもこういう辞書が必要であることを痛感して「玄海」を起草したのは有名な話であるが、この完成の頃から欧語の辞典も様相が変って

いるようである。

我が国が僅僅百年にして西欧の文明を取入れ、追つき追越せで他のA A諸国など及びもつかない大国になり得たその根底には漢学があつたと疑いないことであらう。

私は昨年来諸先輩の御奨めにより全国医学の漢詩愛好者の会を作り、毎月詩稿を集めて配布する仕事をしている。「杏林詩壇」と称し、時折「日本医事新報」誌にも掲載している。西多摩医師会でも同好の士の御参加を得たく、拙文を草した次第である。

(完)



ドライブへのいざない（才五回）

川崎 健一郎

木曾路ドライブ紀行

——木曾路は全て山の中である——

出発は午前三時と決め、前夜は午後八時に寢床にもぐり込んだ。何しろ机上計算によると、走行距離は約七三〇料で、そのうち東名高速が三〇〇料、中央高速が三〇料だから、あとの四〇〇料は一般道路を走らなければならない訳で、途中の休憩等を含めて所要時間は、約十四時間ということになる。したがって午後五時帰宅という計画から逆算して、午前三時に出発と決めたのである。

午前二時、セットしたラジオのブザーで起床。眠気ざましのコーヒーを飲んで正三時いよいよ出発。午前四時厚木インターから東名高速にはいる。

東名もこの時間だと車が少なく、自分で思ったとおりの走り方ができるので快適である。だが、富士インター付近は悪臭が鼻をつく。製紙工場の煙突から吐き出される煙のせいだ。アア、公害王国ニッポン!!

車が混み出す前に木曾路入りを果したいので、厚木⇨春日井間の三〇〇料はノンストップで突走り、当初の計画どおり午前七時に春日井インターを出て国道十九号にはいる。

多治見バイパスを過ぎてしばらく行くと二十四時間営業のガソリンスタンドがあったので、そこでガソリンを補給、ついでに小用も足す。四時間半ぶりに車から降りた

わけだが、これはいささかハードスケジュールで、余り一般的ではなく、せめて牧の原か浜名湖のサービリエリアで一服するよう計画するのが望ましい。ところで、サービリエリアの従業員の態度について一言すれば、牧の原や浜中湖の従業員はマアマアだが、上郷サービリエリアの従業員の態度は最低で、せっかくのドライブ気分を台なしにされる可能性が大なので、ここは敬遠するに限る。

さて、中津川の町はずれで急角度の右折を行ない、今回の目的の一つである馬籠の宿へと向う。狭くそしてカーブの多い旧中仙道を登ること約十分で早朝の馬籠宿に着く。町はやっと目ざめたばかりだ。藤村記念館も開館直後なので、参観者はマバラでユックリと館内を廻ることができた。館内のあずま屋で、地元婦人会のオバサン達が売っている御弊餅は、味も良くサービスも素朴で大いに気分を良くする。

馬籠で小一時を過し、もと来た道を引返して再び十九号に出て北上。妻籠・寝覚の

床等は今回の計画外なので素通りして、二つ目の目的地敷原に着いたのは午前十時過ぎだった。駅前広場に車を駐め、国道を歩いてお目当てのネズコ下駄製造者島田さんを訪ねる。

ネズコ下駄とは、木曾五木の一つである。ネズコで作った下駄で、現在日本でこの下駄を作っている人は、この島田さんだけである。

ちなみに木曾五木とは、ヒノキ・サワラ・アスナロ・コウヤマキ・ネズコをいう。

また、敷原の土産物としては「お六櫛」の方が有名なのだが、わたしはネズコ下駄の方が好きである。

さて、来意を告げて居間のコタツ（早春三月五日のことだからもちろんまだ寒いのである）にはいる。注文した数足の下駄に鼻緒を上げている間に、おいしい沢庵（もちろん自家製）をかじりながらお茶をすすり、よもやまの話をするのである。わたしは木曾路が好きでたびたび来ること、とりわけ木曾の人情がスバライなこと、例えば

散歩しているわたしに土ぼこりを掛けないように除行した地元のトラックのことなど実例を挙げて話したところ、この家の人達とは同郷人がほめられたので大変嬉しそうだった。わたしはもちろんお世辞ではめたのではない。木曾は日本人の心の故郷、わたしは心底そう思う。

こうして敷原でも一時間ほど過ぎたが、あとはもう帰宅するだけだ。お昼はどこで食べようかな、そんなことを考えながら再び十九号を北上、塩尻で国道二十号にはいる。塩尻峠のドライブインは、まずくて高くて、おまけにサービスも悪いのでここは素通り、下諏訪、上諏訪は車が混むので、

岡谷から諏訪湖の西岸を通過して茅野へ抜けることにする。途中湖畔のレストラン（店名失念）で昼食を摂る。甲府バイパスは九分どおり完成、また、笹子トンネルはいつの間には無料になっていた。大月から八王子まで中央高速を走り、予定どおり午後五時、七三〇軒に及ぶ木曾路単独ドライブはここに無事終りを告げたのである。

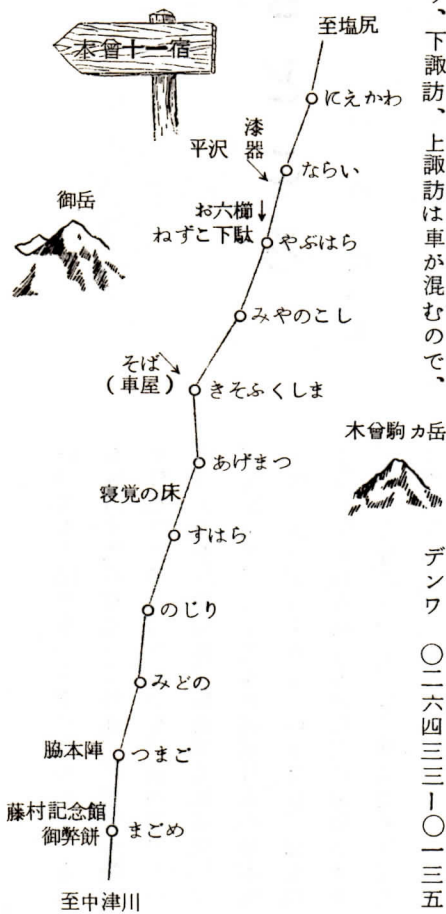
追記

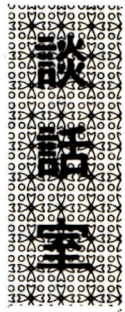
ネズコ下駄製造者島田さんの住所は左記のとおりです。

長野県木曾郡木祖村敷原

島田友三

デンワ 〇二六四三三一〇一三五





弁慶の泣きどころ

川崎 健一郎

「キミ、近頃瘦せたんじゃないの」

「ウン、あれ以来寢床にはいつてもナカ

ナカ寝付かれなくなったんだ」

「あれ以来って一体何のことなの？」

「アア、あんなもの出さなきゃ良かったんだ。例の『お手やわらかに』っていうやつさ。あんなものを投稿したばかりに

次にはどんな手痛い反撃を食うかな、とそれが心配なんだよ。何しろ相手の池田先生は、なかなかのファイトマンだし、文筆は

立つし、その上こちらがスベートのエースをシッカリつかんでいるのに、エイッ!と

いう掛け声と共にそれがハートのキングに

なんだから、そんな人を相手に喧嘩をフツ

掛けたことを、今になって後悔しているんだよ。でもね、ただボンヤリと後悔してい

るだけじゃ能がないから、寢床にもぐり込むと、いろんな対策を考えているわけなんだ。それでナカナカ寝付かないというわけさ」

「対策って一体どんな対策なの」

「いやね、いろいろ考えたんだけど、結局一対一ではトテモかないそうもないから

助太刀を頼もうと思ってるんだよ」

「助太刀を頼むなんて男らしくないじゃないか」

「アノ、さようじゃないさ、助太刀と

いっても実はこういうやつなんだよ。もし

も池田先生が奇術でくれば、阿伎留病院の中村先生に助太刀を頼むし、腕角力でくれば

福生の石川先生に、剣道でくれば羽村の宮地先生に、空手でくれば五日市の杉本先生に、ダンディーさというなら、福生の

上田先生とか青梅の藤野先生にお願いするという工合にさ。ただし、麻雀でくればこれはもうこっちのものがね。

芸？

身を助くっていうわけだな

それから

もしも×××でくれば、これはマア大体互角かな」

「×××って何だい」

「ご想像にお任せしますよ」

「キミ、少しアタマがおかしくなったんじゃないの？ 蔭の声。もともとおかしいんだよ

睡眠不足は毒だよ。時論欄が毎号必要かどうかという論争に、奇術や空手が出てくるなんて変だよ。シッカリしてくれよ」

「そうだったなあ。時論欄のことだったなあ。でも、この問題はこれ以上論争を続

けるような事柄でもないと思うし、こころで打ち切りにしようと思うんだ。それにネ、おそらく池田先生は奥さんから『ネエーン パーソ、川崎先生を余りイジメナイでネ エーン』といわれているんじゃないかな。池田先生は『ネエーン』に弱い筈だからー

川崎先生にお答えします

池 田 聖

やっぱり川崎先生ですね。私が本誌第二号より強調していた紙上討論の口火を切って下さいました。有難うございます。

前号の「お手やわらかに」で先生は、私の第三号編集後記に対して、時論は必ずしも毎号なくともよいと反論されました。私は出来れば毎号あって欲しいと思います。

先生の御意見によりますと、会報の第一の使命である会員の親睦、融和は時論欄からは生れず、文芸、随筆、趣味欄から生れるとお考えのようですが、時論欄にも親

人にはそれぞれどこかに『弁慶の泣きどころ』があるもんですよネ キット奥さんのいうことを聞き入れて、猛反撃はしてこないと思うんだー

アア奥様!! 感謝致しております。

睦をたかめる要素があると私は思っています。居ります。

時論欄で時局を論じ、医政を論じ、ひいては不満足な現況に論及することは、多くの同調者を得るでありましょうし、あの先生がそんなことを考えていたのかと一層理解を深めることと思います。それはとりも直さず親睦につながるとは思いますがいかがでしょうか。

私が第二号の編集後記で、会報が会員の意見交換の場であって欲しいと書き、会員

相互の誌上での積極的なディスカッションによって、誤解や偏見を除くところに真の和があると述べましたが、文芸、随筆、趣味欄だけですと、これは到底実現出来ないものと思います。

私が理想と致します会員の和とか親睦とか申しますのは、表面的なものでなく、氣に入らなければ氣に入るまで意見をたたかわせ、最後に「ヨシ分った」と互に握手したあとに来る和なのであります。

御承知の通り、今は羽村に居られる宮地先生を、酒の上とはいえ平手打ちしてしまったことがあります。後日先生のお宅で宮地先生に謝りましたところ「いや、俺も逆の立場だったら撲っていたよ」と実にサッパリした御返事で、今まで調子のいい先生というイメージだけだったのが、さすが剣道の達人だけあって男らしい頼もしい先生だなあと見直し、却って親密の度を加え、親睦を増しました。

毛沢東が田中総理に「もう喧嘩はすみませんでしたか。喧嘩をしてはじめて本当に仲良く

なれるものです」というようなことを云ったのは、まだ記憶に新しいことであります。

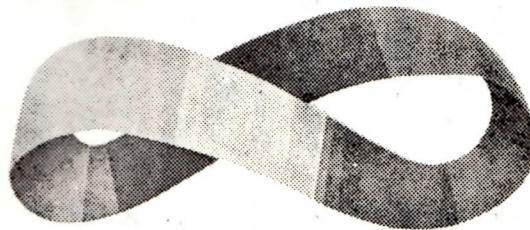
そういうわけで、私は時論欄が対内的に親睦にもつながると思いますし、西多摩医師会員の意見を対外的に示すためにも、出来れば毎号時論欄があつて欲しいと思つて居ります。

以上、尊敬致します川崎先生にお手やわらかに申し上げますが、御賢察の程切にお願ひいたします。

不当、疑問の査定、減点には
必ず再審請求を出そう。

毎月七日午後八時まで減点通知、
注意書、減点レセプトのコピー
等を提出して下さい。

抗生物質療法の限界に挑戦する



新合成広範囲抗生物質

新発売

ミノマイシン®

健保適用

塩酸ミノサイクリン100mgカプセル

- 特長：
1. 耐性ブドウ球菌にも強い抗菌力をしめします
 2. 著名な殺菌作用がみとめられています
 3. 他の抗生物質との交叉耐性が見られません
 4. 耐性獲得は遅く、耐性菌をつくりにくい抗生物質です
 5. 少量の経口投与で高い血中濃度を長時間持続します

用法・用量：1日 1～2回〔100～200mg（力価）〕で各種感染症にすぐれた治療効果がえられます

包装：100カプセル

薬価基準：1カプセル（100mg）340.00



製造 日本レダリー



販売 武田薬品

請求明細書提出上の注意

◎ 国保の請求書及び明細書の保険者欄は、コンピュータの関係上略号を記載して下さい。（例えば青梅市は28と記載）

◎ 月遅れ分の明細書は欄外に「請求洩れ」と朱書して下さい。

◎ 七月分の請求明細書返戻状況の一覧表は次のとおりですから、各自御注意下さい。

返 戻 理 由

1. 記号番号不備不明および保険者名（符号）不一致のもの	六二	件数
2. 国保・国鉄等基金と契約していないもの	四	
3. 生年および患者名不備あるいは記載ないもの	一八	
4. 傷病名不備あるいは記載ないもの	二	
5. 診療開始日・日数および転帰不明あるいは記載ないもの	四	
6. 日雇健保で給付期間の満了したもの	二	
7. 初診・負担金・再診および往診料について不備・不明のもの	三六	
8. 投薬の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	一	
9. 注射の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	五	
10. 投薬・注射・X線で点数算出根拠の不明なもの	六	
11. 処置および手術で内容の不備なもの	四	
12. 検査で検査名・回数・内訳の不備なもの	五	
13. 診療内容と摘要欄記入事項とが不一致のもの	二	
14. 診療内容および方針の説明を要するもの	二	
15. 上記事項に該当しない不備・不明のもの	九七	

計

殺菌効果と速効性なら断然トップ!!

— 新しい抗生物質製剤 —

ダラシン カプセル

基準名：塩酸クリンダマイシン カプセル

1. グラム陽性菌に対して、常用投与量で充分な殺菌効果を発揮します。
2. 他剤でアレルギー反応を示す患者でも過敏反応を惹起した例はありません。
3. ペニシリン耐性の黄色ブドウ球菌にも有効です。
4. 特記すべき副作用の認められた例は、いまだで報告されていません。

用法・用量＝1日3～4回600～900mg・4～6cp
経口投与

薬価基準＝150mg 1cp ¥140,00

75mg 1cp ¥ 72,30

Upjohn 日本アップジョン株式会社

東京都医師モータリスト協会

西多摩支部臨時総会の開催について

十月十三日（金）午後二時から医師会館
で開催されました。了承下さい。

決議事項は同支部規約と役員の選任の件
でしたが、規約は後日会員に送付します。

役員は敬称を省略しますが下記のとおりで
す。支部長 川崎健一郎。副支部長 福島

大寿。幹事 東部地区 木野村幸彦、堤次男。

西部地区 速水完一、三枝進。南部地区

瀬戸岡進、杉本一（会計）。

報告事項は会計報告と三十七年度秋の優良
運転者の件ですが、青梅署管内から三枝
進先生、福生署管内から高水武夫先生、木
野村幸彦先生、五日市署管内から小泉新策
先生、栗原正吾先生が表彰されました。

その他としてスクールゾーンの設定に対
する医療用自動車の対策でした。又運転免
許証の更新期日が本人の誕生日を基準とす
ることになりますので更新期日を通知する
方針でありますが之は取止めますので御

医療用自動車のスクールゾーン乗入れに対する

福生警察署交通課の見解。

往診や学校医の活動のため医療用自動車
が行動を制限されて患者とのトラブル、取
締り警官とのトラブルがありうると考え、
十月十四日福生警察署交通課へ出向きその
態度を確認しました。医療を目的として行
動している自動車は緊急車輛と考えるので
制限しない。医師に対して許可するのは
なく、医療行為にある医師に対して許可す
るので此点に御留意下さいとのことでした。
尚現在は特別な許可証明は発行しないが、
都公安委員会が発行してある駐車禁止時間
制限除外車の証明書か医師会員証を提示し

福 祉 部

編集後記

秋風の感触は、ふんわりと冷やかで恰も絹をまとった麗人に触れた様に快いものです。

秋の夜長は人をして、今迄ご無沙汰しがちだった本の方に気を向けさせ、又、或る人達にはこの季の酒は特にうまく、可憐な虫の声を聞きながら一こん傾け陶然たる気分で、しばし冥想、一句ものにされる風流の御仁もございましょう。

春夏秋冬、季節の移り変りは真にいふものだと思ひます。西医、秋のドライブ会に参加しましたが、久し振りに黄金色のたわなる稲束の山が点在する畑の中の道を走り紅葉織りなす山々を眺めた時、煩わしい保険の事も忘れ、救われた様な安らぎを覚えました。五才の息子は「山の木の葉っぱに赤、黄、橙、茶、紫、灰色があつて綺麗だね、お父さん小供の心にも自然を讃美している気持がよくわかります。我が西多摩には緑濃き山々、多摩の清流（上流の方）があり、本当に幸せなことです。

列島改造論も結構だが、自然を破壊し公害をまき散らすような事だけは絶対に避けて欲しいと願うのは大方でありましょう。

今号より小泉先生の「諸先進国の医療形態について」の論文を掲載

し得る事を喜びとするものです。今回も又、岸田先生を初め、諸先生より玉稿をいただきました事を、感謝致します。しゃべり度い事をどしどし投稿されんことを願って止みません。

（堤）

インキが滲み出そうに濡れた会報のゲラ刷をお初に読ませて頂く楽しみを味っております。毎日情報のはざまに巻かれ乍ら如何にステルかに腐心しているなかで（斜に読むのは良い方で題名だけで読まないのが殆んど）校正のためとは云い乍ら一字一字辿るように読み通すという事は私にとって一大異変ではありますが、反面、日頃酒の席などで冗談やら議論の一つも叩きあった人の文にぶつかったりすると、硬軟自在な「人」の半面が窺われてまことに面白く興味深く思われるし、未だお目にかかっていない作者でも活字を通して何となく身近に感じるようになりました。会報を通じて医師会がより一歩身近くなると思ひますが、これは我田引水でしょうか。

今後は医師会の窓口に会報のための原稿用紙が山と用意されますので折角ご利用の程お願い申し上げます。

それから、毎号表紙を飾っているあの飄飄とした俳画（？）と中のカット、これは露村でありF生でもある（バラして悪かったかな）藤野先生の作品であることを紹介しておきます。

（杉 本）

秋も、愈々深まり病葉にすだく虫の音も跡絶え勝ちに、土に帰える蛙も咽喉を病んでゐる様です。一方、天は、あくまでも蒼く高く、空には、無限の夢と希望とが満ち溢れて居る様に思はれます。

会報第五号を編するに当って、談話室に於ける、川崎、池田両先生の、我々医師会員相互の、和に對する御心痛に感激致しますと共に、他医師会員諸兄の御投稿の無いことを恨みとするものであります。笛吹けど踊らずとか、唯々、此の貴重なる紙面が、我々編集員のみ独壇場になることを虞れるものです。

時論に於ける小泉先生、趣味に於ける、岸田先生には、心より謝意を申し上げます。

尚ほ、今月より芙蓉印刷社の御厚意により原稿用紙を多数用意してあります故、御投稿の諸兄は事務室迄御用命を願ひ上げます。

(藤野記)



指定業者

快適な睡眠をお約束する、東洋羽毛の **羽根ふとん**

不要綿布団を下取りして
快適な羽根ふとんを！

ただいまお得な組夜具セール実施中

*例 ワンセット(掛・肌掛・敷・枕)49,000円より各種

御用命は西多摩医師会
または (0426)91-2006へお気軽にどうぞ！

西多摩医師会指定  東洋羽毛工業(株)東京営業所
東京都港区南青山5-10-12 電話(03)409-5704・7878

 みどりはサンワの
バンクカラーです
12月8日 開店



みなさまのお役に立つ

三和銀行

福生 支店

 福生駅前  0425 (52) 2711~3 